

平成 27 年 10 月 17 日

## 常総市の企業への影響・ボランティア活動の調査報告

丸谷浩明、寅屋敷哲也（東北大学災害科学国際研究所）

### 1. はじめに

平成 27 年 9 月 10 日（木）に、台風 17 号、18 号の豪雨の影響により、茨城県常総市では鬼怒川が越水・破堤し、大規模な浸水被害が発生した。

著者らは 10 月 11 日（日）に、ヒアリング調査への協力が得られた水海道駅周辺（図 1 参照）の企業、破堤箇所周辺、常総市ボランティアセンター等を訪問した。本稿では、これらから得られた情報を簡単に報告する。



図 1. 常総市の浸水範囲と調査地点  
(参照：国土地理院<sup>1)</sup>)



写真 1. 鬼怒川の堤防決壊周辺地域の状況  
(撮影：平成 27 年 10 月 11 日時点)

### 2. 破堤箇所周辺の状況

発災後 1 ヶ月経過したが、写真 1 のように、破堤の影響が最も大きかった箇所は、いまだ被災直後のままだとみられる。水害というより津波で破壊されたような状況だという災害対応関係者のコメントがあったら、調査者も同様の感想をもった。なお、この周辺部では若干の復旧工事の実施がみられ、住宅へのボランティアによる支援活動もみられた。

### 3. 水海道駅周辺の状況とライフライン、企業等への影響

水海道駅周辺は浸水範囲内だが、越水箇所からは約 16 km、破堤箇所から約 12 km 離れており、被害としては、比較的静かに浸水したというものであった。ヒアリングによれば、この地域の浸水は 9 月 11 日（金）の朝 4 時 30 分頃に始まり、浸水が解消したのは 9 月 12 日（土）頃のものである。

ライフラインの影響として停電と断水が発生した。停電は約 5 日続いたが、この地域では停電の前に、停電の予告の防災無線の音声 flowed とのことである。断水は 10 日程度続き、水量・水質の面では段階的に復旧したとのことである（当初、飲む場合は煮沸後に、とされた）。

浸水域には、インターネット地図で見ると限り大企業の工場等はない模様だが、食品・包装関係の工場や酒造業、建機・建材、卸売・小売等の中小企業が多く立地している。話を伺うことができた同駅周辺の事業所では、敷地が少し高くなっていたものの、屋内に約 10 cm 浸水し、1 階にあった電話交換機の被害を受けたとのことである。その時、水海道駅及び線路も水没し、孤立状態になったとのことであった。

#### 4. ボランティア活動

常総市では、茨城県災害ボランティアセンターが 9 月 12 日（土）に設置、9 月 14 日（月）に常総市災害ボランティアセンターが設置され、9 月 30 日（水）に統合された経緯がある。また、当初設置された常総市災害ボランティアセンターは交通アクセス等の理由から、10 月 6 日（火）に水海道駅の南西に約 1 km にある常総市社会福祉協議会隣の敷地に移転された（図 1、写真 2 参照）。

10 月 10 日（土）に 853 人（97 件）、11 日（日）に 625 人（70 件）のボランティア活動が行われた<sup>2)</sup>。

また、写真 3 のように、服装等の気を付けるべき点の掲示があり、ボランティアセンターで登録したボランティアであることが分かるように名札のシールを貼るなどのトラブル等を避ける対処も行われていた。



写真 2. ボランティアセンターの本部事務所  
（撮影：平成 27 年 10 月 11 日時点）



写真 3. 水害ボランティアの留意点の張り紙  
（撮影：平成 27 年 10 月 11 日時点）

#### 参考文献

- 1) 国土地理院ホームページ：平成 27 年度 9 月関東・東北豪雨の情報、【9 月 12 日 15:30 時点までに浸水した範囲】茨城県常総地区の推定浸水範囲  
(<http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/H27.taihuu18gou.html>, 2015 年 10 月 15 日確認)
- 2) 常総市災害ボランティアセンター facebook ページ  
(<https://www.facebook.com/josovcenter>, 2015 年 10 月 15 日確認)